

オカピ通信

第10号
(2024年3月
活動まとめ)

ワークショップ・出店 目白押しなの3月

寒さが緩む3月は、冬眠から覚めた動物でなくても外出したくなる季節。オカピも毎週末、県内各地でイベントに出発しました。

キャンドルフェスティバル

@伊集院森林公園

3月2日に伊集院森林公園(日置市)で行われたキャンドルフェスティバルは、公園の木々に囲まれながら手作り品や美味しいごはん、そしてたくさんキャンドルを楽しむイベントでした。再生プラ製品を販売する傍ら、県内でこだわりのモノづくりをしているほかの出店者さんたちとの交流も楽しめました。子どもに向けたプラスチックのお話も行いました。

ひおきマルシェ

@日置市役所

3月9日に行われたひおきマルシェは、地元・日置市から



プラスチックのお話をしました
(伊集院森林公園にて)

ら出店者が集まるイベントで、来場者も地元の方が多かったです。オカピ(やその製品)を知る方と沢山お話ができました。地元に着きききた実感がありました。

協力隊まつりかごしま

@鹿屋市高隈地区

伊集院から車で2時間半、高隈地区交流促進センターで3月16日に開催された「協力隊まつりかごしま」は「JICA海外協力隊と地域おこ

し協力隊をテーマにしたイベント。両者を経験しているオカピは小型射出成型機を車に積んで参加しました。

民族衣装のファッションショーの隣で、プラごみキーホルダー作り。プラごみ問題の世界的な広がりを、参加者の皆さんに感じていただけていたら幸いです。

未来館SDGsフェスタ

@鹿児島市

かごしま環境未来館で3月23、24日に行われた「未来館SDGsフェスタ」では、砂からプラごみを拾うところからキーホルダーづくりをしてみもらいました。海岸でごみを拾い、洗浄し、破碎したのちに熱で融かして成形する、という一連の流れを体験してもらうことで、クリーンアップへの興味やリサイクルの手の理解につながったのではないのでしょうか。

お話&工作教室

@男女共同参画センター

3月31日は、地元伊集院で講座でした。SDGsとプラの関係のお話の後は、熱いプラスチックを型に巻き付けて作るペン立てづくり。周りの人もドキドキしながら見守っていました。熱で融けるプラスチックの性質を、見て・触れて楽しく学んでもらいました。

「ごみだよ」「ごみじゃないよ」

見方が変われば、価値も変わる

かごしま環境未来館でキーホルダー作りを体験していた兄弟が、材料となるプラスチックを拾いながら「拾っているのはごみだよ」「ごみじゃないよ」と言い合っていました。

誰かが「いらぬ」と思って捨てたごみも、上手に活かせば資源になる。リユースもリサイクルは、「資源としてまだ使える」という意識から始まります。私たちもごみ箱にモノを入れる前に、「ごみ?ごみじゃない?」とつぶやいてみるといいのかもしれない。



ハサミでプラを細断
(かごしま環境未来館にて)

ラジオ・テレビに 出演しました

3月9日はMBCラジオ「people's」で、26日はNHK総合「情報viewかごしま」で、28日はNHK総合「おはよう九州・沖縄」で、活動を紹介して頂きました。放送を聞いてくださった方から応援のメッセージも寄せいただきました。これからまたのしく活動していきます!

オカピの目

4月。新一年生が不安と期待を胸に小学校に入学する季節です。小学校生活に必要なのが、学用品です。お道具箱、さんすうセット、植木鉢、文房具、実験キット:学用品の多くはプラスチック製です。考えてみると、その中にはプラスチックでなくてもよいものや、学校の備品として使われているようなものなども含まれていくような気がします。「ものを大切に使う」ことを伝えるのも大切な教育。諸所の事情があるのかもしれないが、ちょっとひと工夫すればもっと資源を大切に使うこともできるのでは?と思ってしまうオカピなのでした。

製作:岡田香織(サキガケ日置市(移)民) ご意見等は okadakaori.p@gmail.com まで。